

社会福祉法人安房広域福祉会 広報誌

にじのかけはし

vol.
60
2023.10



発行年月日
令和5年10月1日

発行
社会福祉法人 安房広域福祉会
〒294-0231 千葉県館山市中里288-1
TEL 0470-28-2022
FAX 0470-28-2023
<http://www.nakazato.or.jp/>



法人

中里ふれあい夏祭り

支援員 小池 雄吾

新型コロナウイルス感染症の影響で開催できていなかった中里ふれあい夏祭りを4年ぶりに開催することができました。久しぶりの開催ということで盛大に行いたかったところでしたが感染症の流行も鑑みて、例年よりも小規模での開催になりました。それでも盆踊りに夜店、ダンス鑑賞と皆様にも楽しんでいただきました。4年ぶりでしたが利用者の皆様は身体に染みついた盆踊りの振り付けを忘れてはいなかったようで音楽が流れると自然と踊っていました。今年は様々な感染症により制限のある中での開催となりましたが来年こそは盛大に行いより皆様に楽しんでいただけるようにしたいです。



桜の里

桜の里のミニ夏祭りです！

支援員 木曾 直穂子

8月11日の山の日の祝日。桜の里ではミニ夏祭りを行いました。シャボン玉・魚釣りゲーム・ボウリング。暑い日だったので、テラスでの魚釣り（おもちゃ釣り）と水風船投げが大人気！一人がはじめたら、職員の足元を狙って水風船を投げては喜ぶ人が続出していました。手作りで、モールのプレスレットと風船に顔を描いた物を真剣に作って、屋台で売って・買ってと友人同士で行った物は、家へのお土産に。盆踊りを激しく踊った後の給水は、かき氷シロップの冷水割り。おやつには、フランクフルト・ポップコーン・水あめせんべいと、何から何までお祭りの雰囲気を感じられるように工夫したので、皆さんニコニコと楽しんで下さいました。暑さに負けない、熱いお祭りでした。



中里 ワークホーム

秋の大収穫祭

支援員 滝川 哲男



8月末、期待と不安の季節が到来！農産加工班のメインイベントである、稲刈りがスタートしました。今期は、田植えの機械トラブルから始まり、梅雨時期の水不足、猛暑が猛威を振るい、不安要素は増えるばかりでした。しかし、そんな状況とは裏腹に稲は良く育ってくれ、まずは一安心。すると今度は梅雨に降らなかった雨が降り続くこともあり心配しましたが、順調に刈り進めることができました。収穫量も思いの外心配なさそうで、一先ずホッとしました。

この記事が皆様のお手元に届く頃には、美味しい自慢の新米を、ふれあいシヨップ平砂浦にて販売しておりますので、是非お立ち寄りいただき、賞味いただければ幸いです。



こすもす

みんなの心は夏模様！

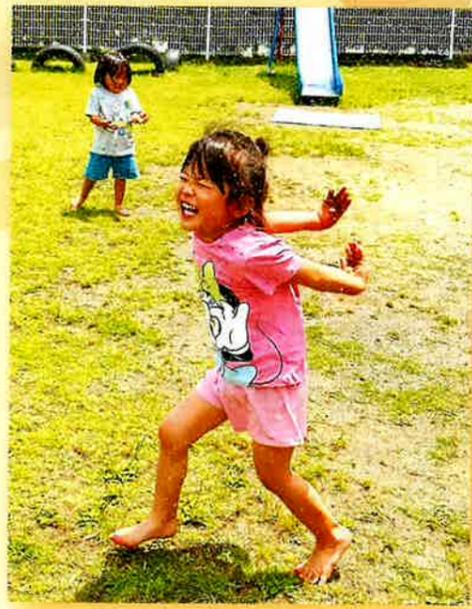
児童指導員 豊崎 裕二

こすもすの暑い夏の到来！「ねえプール入る？」「今日アイス食べる？」などなど毎日子供たちの笑顔や笑い声に元気をいただき夏を満喫しています！

プールでの「コママ：プール入ろうよ！」「怖い：抱っこしてあげるから大丈夫一緒に入ろう！」「この夏に導入した特製スライダー！私の腕がパンパンになるほど！」「もっとやっつて（笑）」と本当に笑顔の絶えないプールタイムです！

さてさてもう一つの楽しみは、外出です！「どこに行く？」「ふれあいシヨップ！」「マックがいい！」と子供たちのご希望に沿った外出も毎日実施しています。車中では偶然にも神輿や山車、お船が見れたりサプライズもたくさんあり、おもしろかった！お祭りが見れてよかった！外出はまだまだ続きます！夏が終わるのは寂しいですが、まだまだ楽しみがいっぱいです！





素敵な日常
スナップ写真



ワークス 館山

花のまち館山

支援員 川上 賢人

ワークス館山では4月から新規業務として館山市役所本庁舎内や市内の花壇管理の仕事を開始いたしました。

業務内容は週2回、館山市が管理する花壇の除草・灌水・花ガラ摘み等を行います。

最近では市役所に来庁される方から「いつもきれいにしてくれてありがとう。」「暑い中ご苦労様。」「温かなお言葉を掛けていただくことも多く、利用者の皆さんも責任とやりがいを感じている様子です。」「

今後も館山市と協働し、仕事を継続していくことで「花のまち館山」を盛り上げられるよう取り組んでいきたいと考えています。」「



中里の家

慰労会



支援員 平嶋 洸介

8月22日にグループホームの慰労会として情熱ペンション富浦にてバーベキューを行いました。宿主の西貝さんは以前に中里の家の世話人として働いていたこともあり、利用者の皆さんは久々の再会に大変喜んでいました。お肉や焼きそばなど、あっとい間に平らげてしまいました。短い時間ではありましたが楽しいひと時を過ごすことができ、今後も楽しんでいただける計画を考えていきたいと思えます。」「

中里の家

挑め！レクリエーション大会

支援員 大岩 真人

5月19日、外は雨の降る中、旧神戸小学校体育館にて実施致しました。桜の里利用者さんも7名参加。今年も紅白に分かれ、玉入れ、綱引き、パン食い競争と白熱した闘いが繰り広げられました。恒例の職員によるアトラクションは、「コント学校授業」が催されました。学生服姿、女子高生に扮した演技力は、ドリフ顔負けでした。」「

今年は紅組優勝。参加された利用者さん全員が手作りメダルを手にして笑顔溢れる一日となりました。」「



職員の趣味や日常の1コマを
紹介します

高橋の部屋

第7回は 障害者就業・生活支援センター中里

高橋 麻衣さん

「趣味は？」と聞かれ、答えられるようなことがなく過ぎてきた数十年。まさか自分にこんなことができるなんて思いもしなかった。

きっかけは友人に連れて行ってもらったあるアーティストのライブ。ファンの方が身に付けていたグッズの可愛さに魅せられ、手に入れたと思ったが；聞けば自分で作ったオリジナルだと知り驚いた。これは私も作るしかない、メラメラ燃えた気持ちを今でも覚えている。

自作第一号は、ライブのタイトルからイメージしたアクセサリー。するといろんなアクセサリーが作りたくなり、キーホルダーが作りたくなり、レザーホルダーが作りたくなり、レザー製品の製作がしたくなり…。と、今に至る。今は少し大物に挑戦しているが、これが中々難しく、もう約1年も失敗を繰り返している。今年こそ仕上げたいと思っ

実は秘かにブランド名も考えていたりする(笑)



第8回は

次回、
誰が登場するのか
お楽しみに!



こすもす

電車でGO!

保育士 岡田 記代子

新緑が気持ち良い5月。

こすもすのつくしんぼクラスでは和田浦にある道の駅「WAO!!」へ電車でお出かけしました。

電車に乗ることが初めてのお子さんもいらしたので事前に手作りの電車を使って、ホームでのお約束や電車のマナーなどを学習しました。

職員や子供達のイメージトレーニングもばっちり迎えた外出当日。事前学習で学んでいたこともあってか、どのお子さんもスムーズに乗車することが出来ました。車内では車窓から見える景色に夢中になっている子やトンネルに入ったとたん外が暗くなり目を丸くして驚く子、運転手さんの仕事を見つめる子、揺れが心地よくて眠ってしまう子など普段の活動では見る事のできないお子さんたちの姿を見ることができました。鯛せんべいがのったソフトクリームも、子ども達を笑顔にさせてくれる味わいでした。次はどこへ行こうかな。

お蕎麦の歴史

支援員 伊藤 学

皆さんこんにちは。普段何気なく食べているお蕎麦ですが、ふと「あれ、そばっていったい
つから食べられてるんだろ」とか「そばは昔から今の形で食べていたのかなあ」と考えた事は
ありませんか。そんなあなたに、今回はお蕎麦の歴史と一緒に学んでいきましょう。

実は蕎麦は日本独自の食べ物ではなく、遠い昔に今の中国の東チベット、四川省、雲南省と
いったところで栽培されていたそうです。そこから、長い年月を経て日本に渡ってきたとされ
なんと、9300年前の高知県の遺跡から蕎麦の花粉が発見されていることから、最低で
もその頃から蕎麦は食べられていたというから驚きです。ただし、その頃は現在のよような麵状の
ものではなく粒のまま粥として食べられていたそうです。お米が日本に入ってきたのが縄文時
代の後期約2800年前とされてい
ますから、これはお米よりも歴史が古
い事になります。

その後、時代とともに食べ方や作り
方が変化していき現在の形になっ
たのが、江戸時代の初めのころだそう
です。皆さん、時代劇のワンシーンを思い
出してみてください。江戸時代の人が
食べていた蕎麦を、400年後の今私
達が食べている、そう考えると、とても
浪漫を感じずにはいられません。

新蕎麦が待ち遠しい季節となりま
した。皆さんも、「和麵家 中里」で、思
いを馳せながらお蕎麦をすすってみて
はいかがですか。もしかしら、当時の
何かを感じられるかもしれませんね。



お問い合わせ先

和麵家中里

千葉県館山市北条1239-1
0470(25)7322

営業日・時間

月～金曜日 11:30～13:30



新職員紹介

最新情報はこちら



社会福祉法人
安房広域福祉会HP



中里の家 支援員
水上 大和
みずかみ やまと

趣味 パソコン
座右の銘 1つ1つコツコツ



中里の家 支援員
佐藤 直人
さとう なおと

趣味 筋トレ
座右の銘 怒りは敵と思え